

令和6年度（2024年度）

管理事業名	地域環境保全事業				総合計画 の体系	大綱 5	環境	
						政策 1	環境先進都市のまちづくり	
						施策 3	安全で健康な生活環境の保全と自然共生の推進	
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費	(目) 7	環境保全費	
部局名	環境部、下水道部	予算執行 所属	環境政策室・管路保全室					
<b>事業の目的と概要</b> 【目的】市民の良好な生活環境の保全を目的としている。 【概要】・生物多様性保全施策推進事業（市民が生物多様性について理解し、保全活動を実践することを目指した啓発等） ・地域循環共生圏事業（地域循環共生圏の構築を具体化するための検討会を立ち上げ、吹田市の公共施設への木材利用を推進） ・危険動物捕獲事業（アライグマ等危険動物の捕獲及び処分、捕獲器の貸出） ・環境美化啓発事業（環境美化の啓発、清掃用具の貸与等の支援） ・環境美化清掃委託事業（環境美化推進重点地区等における清掃） ・河川環境事業（河川管理者である大阪府との協働により、糸田川の河川清掃）								

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	指標の定義
環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区の指定箇所数	箇所	0(9)	0(9)	0(9)	地区指定をした箇所数（ ）は総指定地区数
環境美化推進員数	人	601	584	554	推進員の総数（任期2年）
生物多様性保全イベント参加者数	人	1,312	1,673	1,439	生物多様性保全イベント参加者総数
アライグマ捕獲頭数	頭	54	56	67	吹田市内で捕獲したアライグマの頭数

II 活動実績・成果

<p>【成果指標1】環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区の指定箇所数についての評価 指定箇所0か所（総指定地区数9か所）（前年度と増減なし）</p> <p>【成果指標2】環境美化推進員数についての評価 令和6年度：554人（前年比：30人の減） 環境美化推進員については、一部団体が登録更新を行わなかったことにより、人数及び団体数が減少している。</p> <p>【成果指標3】生物多様性保全イベント参加者数についての評価 令和6年度：1,439人（前年比：234人の減） 気温が低いなど当日の天候の影響もあり、すいた環境教育フェスタの参加人数が減少したことによる。</p> <p>【成果指標4】アライグマ捕獲頭数についての評価 令和6年度：67頭（前年度より11頭の増） 生活環境に係る被害状況については近年増加傾向にある。</p>	<p>【財務情報に基づいた評価】 経常費用の主なものについては、給与関係費が56,759千円（67.2%）、物件費14,604千円（17.3%）となっている。 給与関係費には、路上喫煙防止啓発員の報酬が含まれており、物件費のうち主な内訳である委託料は75.7%を占めている。</p>
--	---

III 課題と今後の取組

<p>吹田市環境美化に関する条例が目的としている清潔できいなまちをつくり、生活環境の向上を図るためには、市民・事業者で構成される環境美化推進員をはじめ多くの方々と協力して公共空間の環境美化の推進を継続して進めていくことが必要である。</p> <p>令和5年度にJR岸辺駅とJR吹田駅、令和6年度に江坂公園と豊津公園に設置した卒煙支援ブースの適切な管理に努めるとともに、路上喫煙防止啓発員（4名）による効果的な啓発活動を実施している。啓発員による啓発効果について、引き続き検証していく。</p>	<p>今後、地区指定については、スモークフリーシティ実現への取組みや新たな喫煙所設置が困難である状況を踏まえ検討することが必要である。</p> <p>市民が生物多様性について理解し、保全活動を実践することにつながるよう、積極的に外部との連携を強化し、啓発の機会を増やすことが重要である。</p> <p>アライグマの目撃情報や生活環境に係る被害状況が近年増加傾向にあるため、大阪府と連携し、市内4か所に自動撮影カメラを用いてアライグマの生息状況の把握に努めている。</p>
--	---

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和5年度末 A	令和6年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和5年度末 A	令和6年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	3,019	3,607	588
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	3,019	3,607	588
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	39,959	65,547	25,588	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	27,067	29,455	2,388
建物・工作物	39,959	65,547	25,588	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	27,067	29,455	2,388
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	30,086	33,062	2,976
建物・工作物	-	-	-	純資産	9,873	32,485	22,612
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	-	-	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	純資産の部合計	9,873	32,485	22,612
資産の部合計	39,959	65,547	25,588	負債及び純資産の部合計	39,959	65,547	25,588

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和4年度	令和5年度 A	令和6年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	199	290	198	△92
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	5	76	101	24
経常収入 小計(a)	204	366	299	△68
給与関係費	32,555	48,320	56,759	8,439
物件費	8,359	11,553	14,604	3,051
維持補修費	546	660	2,508	1,848
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	98	273	573	299
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	830	1,682	1,575	△107
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	2,696	3,019	3,607	588
退職手当引当金繰入額	1,425	3,712	4,785	1,073
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	46,510	69,220	84,411	15,191
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△46,307	△68,853	△84,112	△15,258
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	160	-	27,214	27,214
特別収入 小計(d)	160	-	27,214	27,214
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	363	-	51	51
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	363	-	51	51
特別収支差額(d)-(e)=(f)	△203	-	27,163	27,163
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△46,510	△68,853	△56,949	11,905
一般財源充当額	48,027	64,131	76,021	11,890
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	1,517	△4,723	19,072	23,795

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和4年度	令和5年度 A	令和6年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	204	366	299	△68
行政サービス活動支出	46,301	64,898	79,859	14,961
行政サービス活動収支差額	△46,097	△64,532	△79,560	△15,029
投資活動収入	37,205	401	3,540	3,139
投資活動支出	39,135	-	-	-
投資活動収支差額	△1,930	401	3,540	3,139
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△48,027	△64,131	△76,021	△11,890
一般財源充当額	48,027	64,131	76,021	11,890
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特微的な事項

勘定科目等	特微的な事項
【BS】 建物・工作物	卒煙支援ブース 65,547千円 (2か所更新による25,588千円の増)
【PL】 特別収入/ その他	卒煙支援ブース寄贈 27,214千円
【PL】 特別費用/ 固定資産除 売却損	既存卒煙支援ブース撤去による固定資産除売却 損 51千円

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
市民1人	コスト	120 円	181 円	220 円
	実績	381,238 人	382,336 人	384,302 人
	コスト	円	円	円
	実績			

分析内容  
市民1人あたりのコストは220円。  
(令和7年3月31日現在の人口で算出)

人にかかるコストの内訳

	給与関係費 等(千円)	うち時間外手 当等(千円)	月平均従事 人数(人)
常勤・再任用	44,916	885	4.79
会計年度任用等	20,235	-	-
特別職非常勤	-	-	-
合計	65,151	-	-

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和4年度	令和5年度 A	令和6年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		10.4	14.0	8.0	△ 6.0
施設維持補修費比率		1.2	1.4	3.5	2.1
経常費用対公共資産比率		100.1	149.0	118.5	△ 30.5
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		-	-	-	-
一般財源充当比率		56.2	98.8	95.2	△ 3.6